



平成 30 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社 エフピコ  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 守正  
(コード番号 7947 東証第一部)  
問合せ先 専務取締役経理財務本部本部長 池上 功  
(TEL. 084-953-1145)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	179,000	15,900	16,500	11,150	269 円 71 銭
今回修正予想 (B)	174,000	12,830	13,500	9,100	220 円 13 銭
増減額 (B - A)	△5,000	△3,070	△3,000	△2,050	
増減率 (%)	△2.8	△19.3	△18.2	△18.4	
前期実績 (平成 29 年 3 月期)	172,858	15,176	15,742	10,953	264 円 86 銭

#### 2. 修正の理由について

販売面については、消費者の根強い節約志向が続いており、8 月以降、関東や東北など東日本での天候不順を受けて、季節商品の販売が鈍くなり、また、O157 の被害により惣菜の販売も鈍化、さらに、漁獲量減少による魚価の上昇やアニサキス問題で鮮魚部門の不振が続きました。10 月に入り、長雨による天候不順や台風の影響で客足が遠のき、年末には葉物野菜を中心に高騰したことなどから販売数量が低調となりました。利益面については、販売数量が低調になったことに加え、原材料価格の高騰、電力料金や人件費等の上昇に対して、昨年 6 月出荷分から製品価格の改定を発表しましたが、7 月からのポリスチレンの値下がりやを反映して値上げ幅を圧縮し、また価格転嫁の時期がずれ込んだことなどが影響し、コスト上昇を吸収するまでには至りませんでした。

さらに、昨年 9 月からの中国産 PET 樹脂に対する不当廉売関税を背景とする輸入 PET 樹脂の値上がり、今年 1 月からのポリスチレンの再値上がりなどもあり、上記のとおりに通期連結業績予想を修正いたします。

このような状況ではありますが、中食マーケットの拡大に伴い、電子レンジ加熱対応の当社オリジナル製品の販売が堅調に推移しております。原料面では、中国による廃プラスチックの輸入停止

の影響により、日本国内の回収PETボトルは値下がり傾向にあります。今後につきましては、回収PETボトルを原料として再利用する関東エコペット工場が稼働したことで、原料生産コストの低減を見込んでおります。一方で、バージン原料である輸入PET樹脂が高騰しているほか、ポリスチレン、ポリプロピレンやポリエチレンなどの合成樹脂原料も値上がりし、段ボールやポリ袋など副資材も値上がりの動きがあります。当社といたしましては、当第4四半期以降の原料動向などを見極め適切に対応するとともに、あらゆる部門の生産性向上に努め、業績回復を目指します。

なお、期末の配当予想につきましては、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つとして考え、継続的かつ安定的に配当を実施していくことを基本方針としていることから、変更は行いません。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上